特許に勝つための実験ノート：比較例重視の作成・運用ガイド

裁判例から学ぶ「出願後データ」の限界と活用

出願後データ

KEY_FINDING:
出願後データは「穴埋め」
ではなく「補強」にのみ有効

Supporting Detail:
[illegible]フィルム[illegible]により、[illegible]の[illegible]は[illegible]時の[illegible]から[illegible]者が[illegible]できる形で示されている必要があります。

DEFINITION:
[illegible]の二段階評価
（形式面 vs 実質面）
Supporting Detail
文量が[illegible]であるか（真正成立）という形成面と、その内容が生[illegible]に[illegible]付けるかという実質面の双方を満たす必要があります。

進歩性の文脈
(INVENTIVE STEP CONTEXT)

COMPARISON:
追加データの参[illegible]が可能
Supporting Detail:
[illegible]では、[illegible]に[illegible]の「[illegible]」が記載されていれば、[illegible]データを証拠として認められる[illegible]にあります。

実験ノートに必須の10要素

PROCESS_STEP
識別子と日時の正確な記録
Supporting Detail
ノートの、ページ番号。[illegible]日および[illegible]時制を[illegible]記し、時[illegible]科の[illegible]可能性を[illegible]します。

KEY_FINDING
再現性を[illegible]する材料・装置の特定
Supporting Detail
ロット番号、試[illegible]の純度、機[illegible]IO、[illegible]評価、ソフトウェアのバージョンまで詳[illegible]に記[illegible]します。

PROCESS_STEP
実施者と確認者の署名
Supporting Detail
[illegible]者（確認者）による[illegible]のレビューと[illegible]が、[illegible]の[illegible]を排除し、真正性の[illegible]を[illegible]にします。

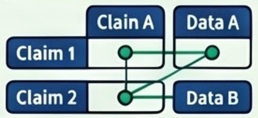
SUPPORTING_FACT
生データ（Raw Data）
へのリンク
Supporting Detail
[illegible]や機[illegible]IO[illegible]、[illegible]の[illegible]ファイルを、[illegible]な[illegible]で固定または[illegible]します。

証拠力を最大化する運用フロー
(EVIDENCE MAXIMIZATION WORKFLOW)

PROCESS_STEP
証拠の「固定化」

Supporting Detail
[illegible]前に[illegible]なページをPDF化し、タイムスタンプや[illegible]を[illegible]して「その[illegible]に存在したこと」を[illegible]します。

STRATEGY
クレーム要件との紐付け
(Claim Evidence Matrix)



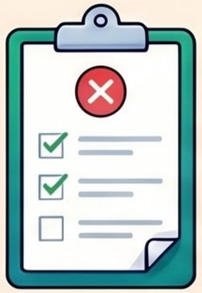
Supporting Detail
各[illegible]の[illegible]件をどの実[illegible]データが[illegible]付けているかをマトリクス化し、出[illegible]ドラフトと同[illegible]させます。

COMPARISON
紙ノート vs 電子実験ノート (ELN)

紙ノート	ELN
署名による真正成立	監査証跡による改ざん[illegible]と[illegible]性

VS

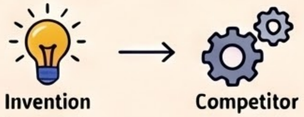
説得力を生む「比較例」の設計



赤信号チェックリスト

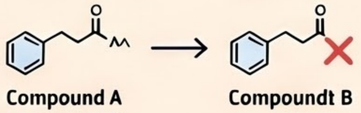
比較例が弱すぎる	対策：最有力比較例（[illegible]技術）との対比を行う
条件が揃っていない	対策：温度・pH・測定機器などの[illegible]を固定する
n数が不明・恣意的[illegible]	対策：事前に数外基準を定め、全データのログを残す
評価[illegible]の[illegible]付け	対策：主要評価[illegible]を事前に[illegible]し、[illegible]的解析と[illegible]

DEFINITION:
最有力比較例（Closest Prior Art）の設定

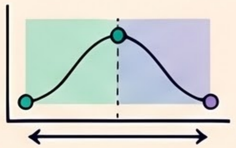


Supporting Detail
[illegible]明に[illegible]も[illegible]い[illegible]や[illegible]品を[illegible]にする[illegible]ことが、[illegible]を[illegible]する上での[illegible]となります。

EXAMPLE:
要素削除（Ablation）と比較



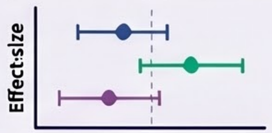
Supporting Detail
[illegible]明[illegible]の[illegible]を抜いた[illegible]と比較することで、その成外による[illegible]的な効果を証明します。



KEY_FINDING:
クレーム範囲の代表点と端点の押さえ
Supporting Detail
[illegible]限定などのクレーム範囲に対し、中[illegible]だけでなく効果の境界（[illegible]）のデータを取得し、有効性を[illegible]します。

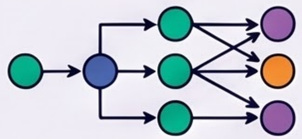
特許のための統計解析ガイド
(STATISTICAL ANALYSIS GUIDE FOR PATENTS)

STATISTIC
p値に依存しない報告形式



Supporting Detail
平均[illegible]・ばらつきに出え、[illegible]や[illegible]区間を[illegible]することで、データの[illegible]性と[illegible]な[illegible]を強[illegible]します。

KEY_FINDING
多重性の考慮とロバスト性確認



Supporting Detail
多数の条件比[illegible]を行う[illegible]は多重比[illegible]補正を行い、外れ値[illegible]が結論に影響しないか感度分析を実施します。